

株式会社 **山善**
2015年3月期

決算説明会

2015年5月29日

amaze! 
YamazeN.
驚きは、山善の中にある。

代表取締役社長(CEO) **中田 繞**

AGENDA

- I. 2015年3月期(第69期)決算概要
- II. 中期経営計画「A.A.15(ダブルエーイチゴー)」
- III. 2016年3月期(第70期)の取り組み
- IV. 株主還元

I . 2015年3月期(第69期)決算概要

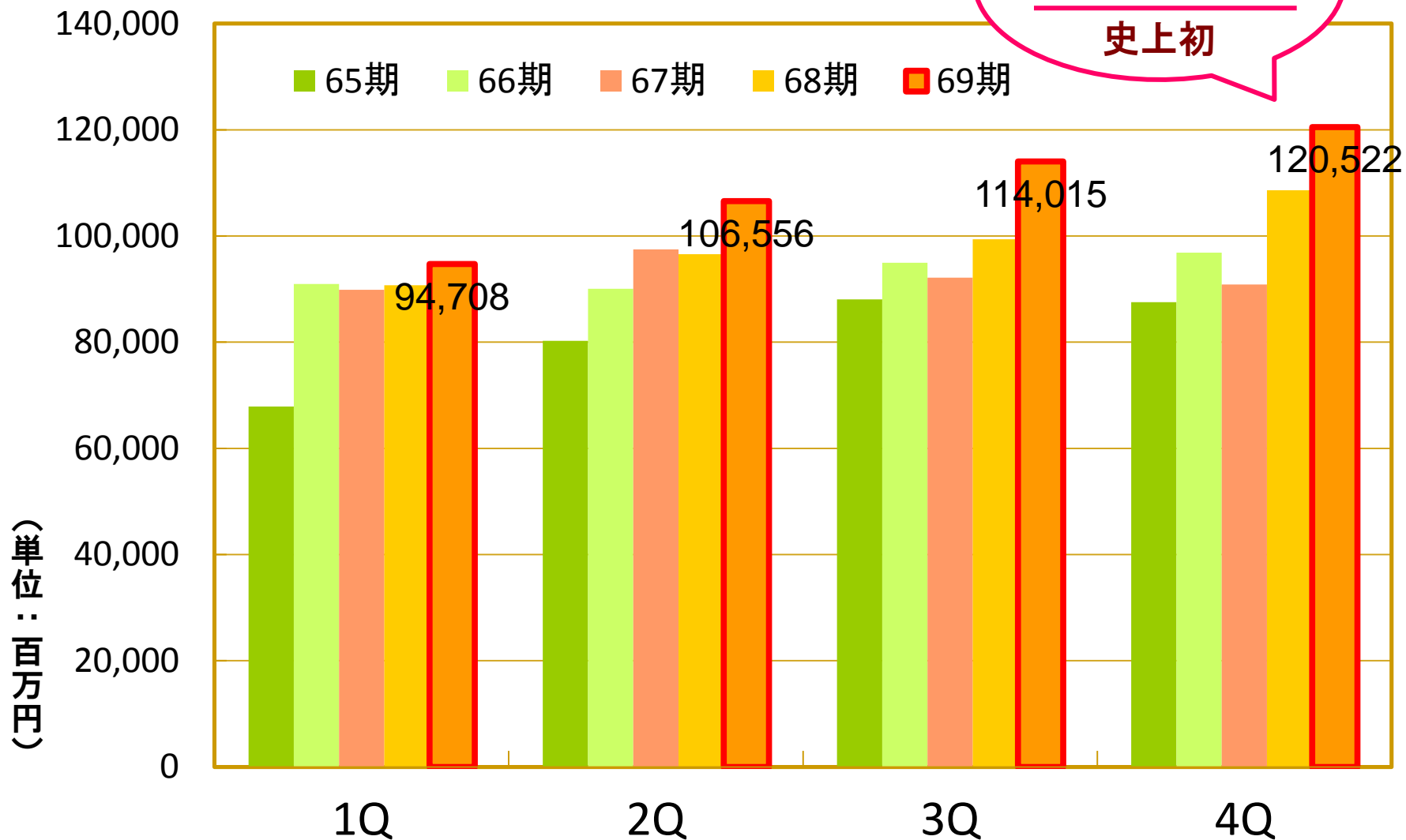
■ 連結損益計算書

(単位:百万円)	2014年3月期 (第68期)	2015年3月期 (第69期)	増減率 %	公表計画 (修正分)	公表計画 対比%
売上高	395,249	435,803	10.3	420,000	103.8
売上総利益 (総利益率)	50,208 (12.7%)	56,081 (12.9%)	11.7 (0.2)	—	—
販売管理費	40,645	42,951	5.7	—	—
営業利益	9,562	13,130	37.3	11,300	116.2
営業外損益	275	200	△ 27.4	—	—
経常利益	9,838	13,330	35.5	11,500	115.9
特別損益	△ 645	△ 2,517	—	—	—
当期純利益	5,515	5,851	6.1	7,200	81.3

➤ 売上高・経常利益とも過去最高。ロジス減損処理あるも、増収増益をキープ。

■ 四半期比較(過去5年)

3月単月
売上高500億円超
史上初



■ 事業別売上高／公表計画対比

(単位:百万円、%)	2014年3月期 (第68期)	2015年3月期 (第69期)	前期比 増減率%	公表計画 (修正)	計画 対比%
機 械 事 業 部	59,982	64,944	8.3	60,000	108.2
機 工 事 業 部	114,557	122,314	6.8	122,000	100.3
(国内生産財小計)	174,540	187,259	7.3	182,000	102.9
国 際 事 業 本 部	74,375	107,796	44.9	93,000	115.9
(生産財関連計)	248,915	295,055	18.5	275,000	107.3
住 建 事 業 部	63,064	58,962	△6.5	60,000	98.3
家 庭 機 器 事 業 部	76,625	74,616	△2.6	78,000	95.7
(消費財関連計)	139,689	133,578	△4.4	138,000	96.8
そ の 他 部 門	6,644	7,168	7.9	7,000	102.4
合 計	395,249	435,803	10.3	420,000	103.8

4. 経常利益の増減要因

(単位:百万円)

売上総利益増加
(増益要因)

販管費増加
(減益要因)

- 人件費関係 ▲1,109
- 活動経費(旅費・支手) ▲732
- 賃借・保管料 ▲79
- 減価償却費 ▲157
- その他の増加 ▲228

※注1:前期、子会社売却に伴う
受取利息減少(特殊要因)

- 国内生産財 1,389
- 海外生産財 4,260
- 住建 ▲274
- 家庭機器 418
- その他 78

+5,873

▲2,305

- 受取利息減少※注1 ▲19
- 支払利息増加 ▲48
- その他営業外収支差 ▲8

▲75

営業外収支
(減益要因)

前期比
3,492百万円
(35.5%)

9,838

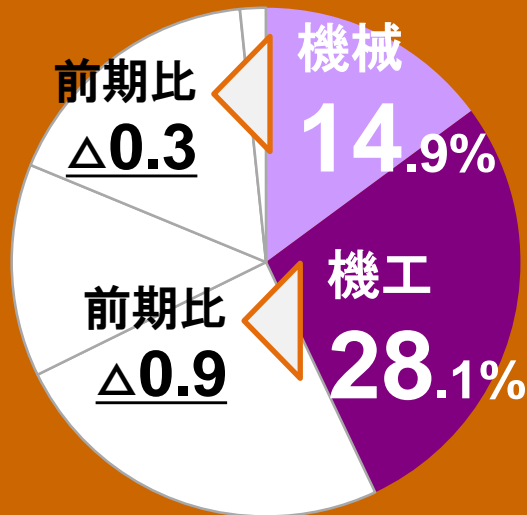
13,330

2014年3月期
経常利益

2015年3月期
経常利益

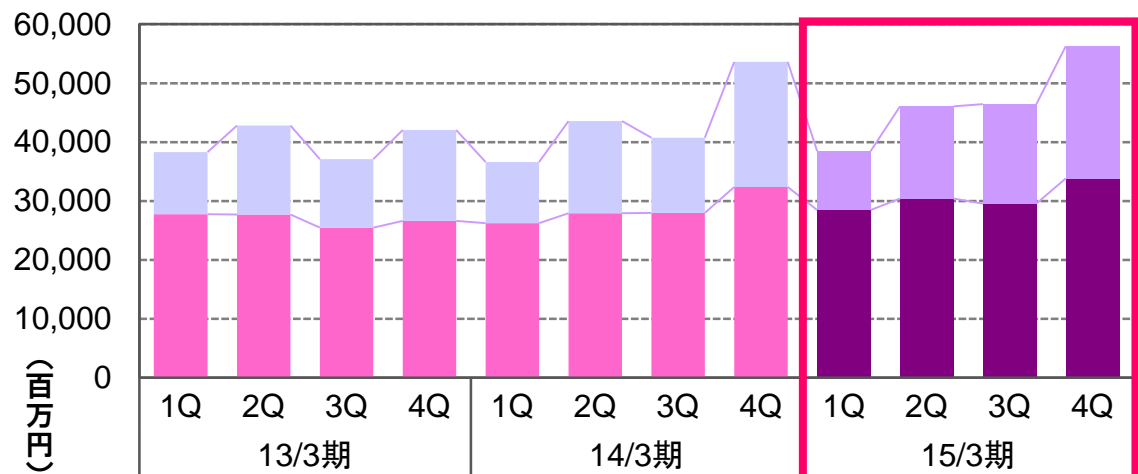
(単位:百万円)		2014年3月期	2015年3月期(第69期)		
生 産 財	機械事業 (国内)	売上高	59,982	64,944 (増減率)	8.3%
		営業利益	2,437	2,749 利益率	4.2%
	機工事業 (国内)	売上高	114,557	122,314 (増減率)	6.8%
		営業利益	2,667	3,514 利益率	2.9%

売上高構成比

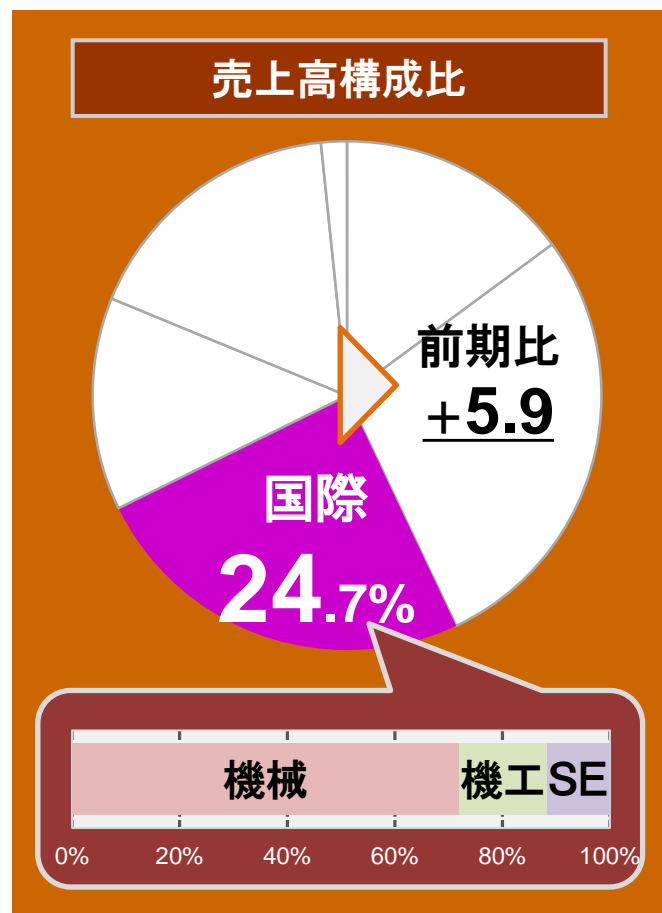


- 工作機械は、政策効果による設備更新需要、輸出関連企業の設備投資が順調で、年間受注は677億円に増加。
- 機工関連は、切削・補要が堅調。測定、メカトロも需要増。

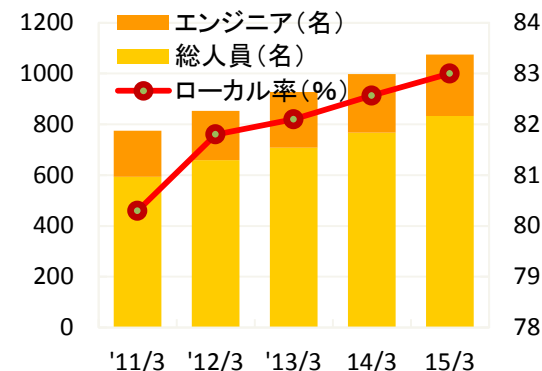
四半期売上高推移(直近3年)



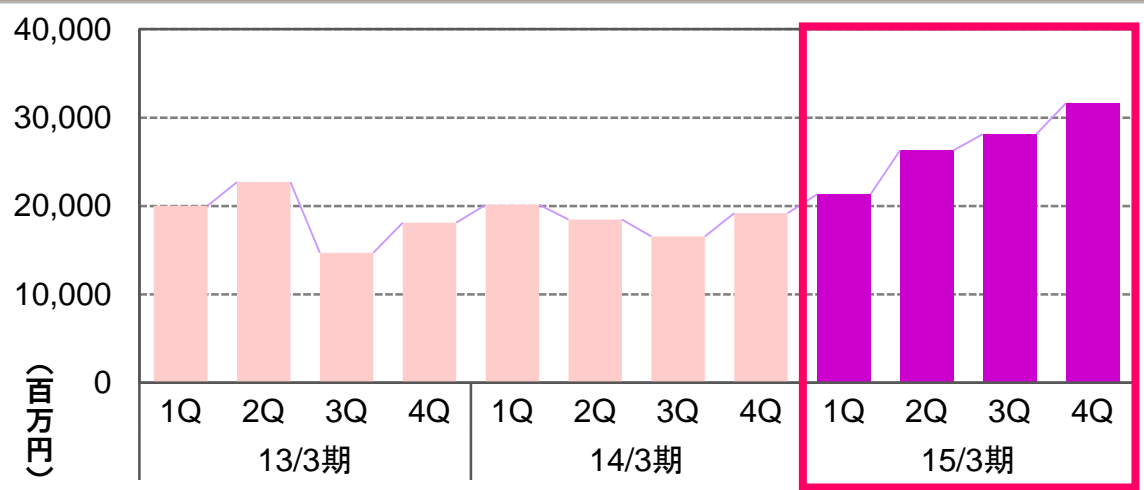
(単位:百万円、%)		2014年3月期	2015年3月期(第69期)		
生産財	国際事業	売上高	74,375	107,796 (増減率)	44.9%
	(海外)	営業利益	2,725	5,054 利益率	4.7%



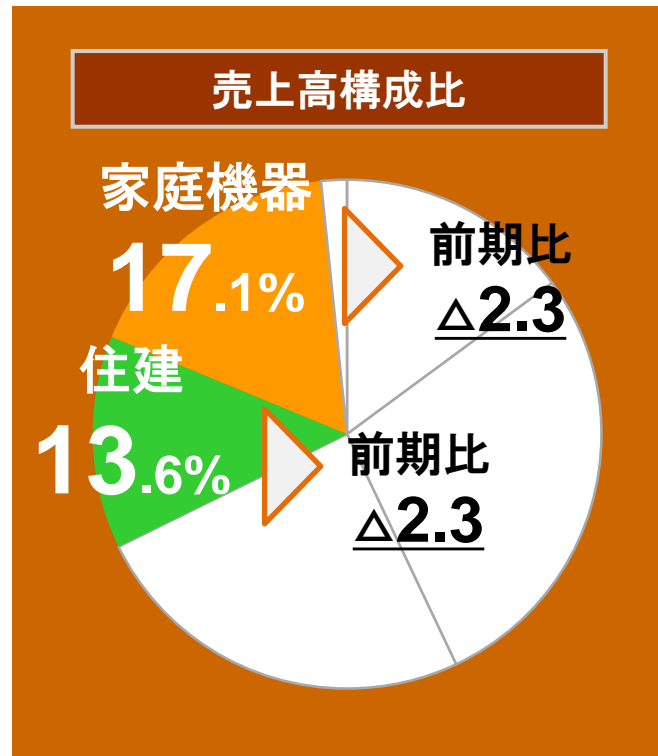
❑ 各地区が売上を伸ばす中、EMS~IT関連の大口受注も続き、大幅な増収増益。
 👉 人員の先行投資を継続中: エンジニア242名、総人員1,075名と1,000名超。



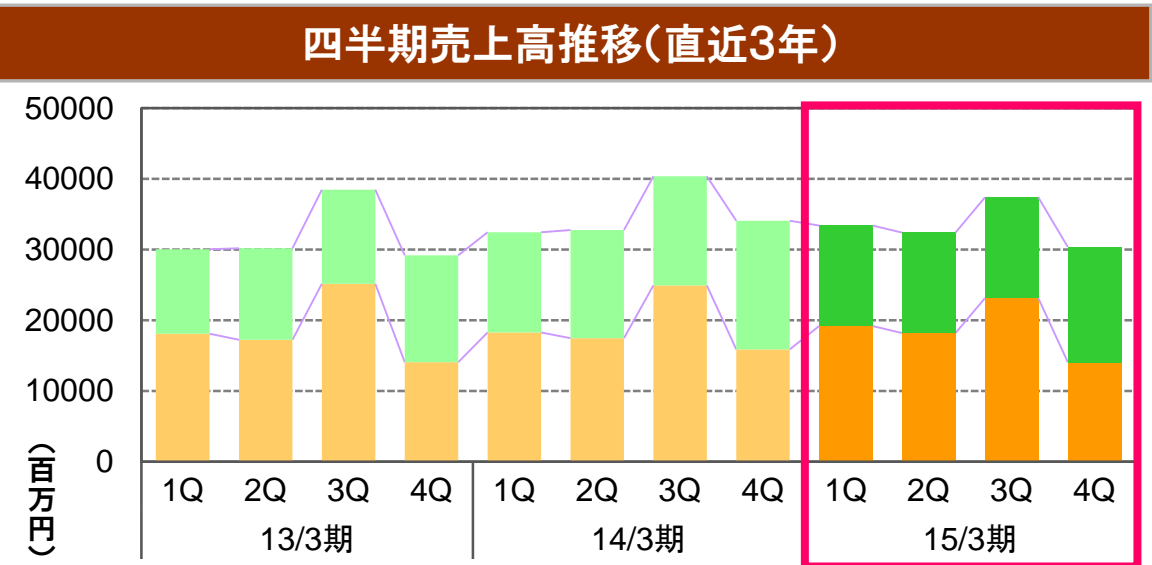
四半期売上高推移(直近3年)



(単位:百万円)			2014年3月期	2015年3月期(第69期)		
消費財	住建事業	売上高	63,064	58,962	(増減率)	△6.5%
		営業利益	2,170	1,700	利益率	2.9%
	家庭機器事業	売上高	76,625	74,616	(増減率)	△2.6%
		営業利益	1,646	1,873	利益率	2.5%



- 住建は、新築・リフォームとも消費増税の反動減からの本格的な回復に至らず、減収減益。
- 家庭機器は円安影響で減収も、「質」の改善で増益を確保。



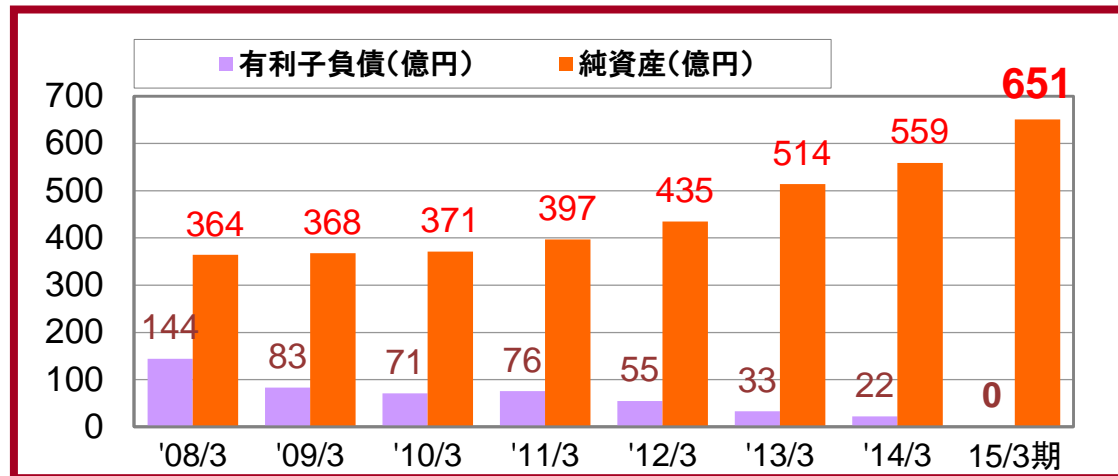
■ 貸借対照表

資産	負債・純資産
流動資産 1,765 (+207)	流動負債 1,302 (+113)
	固定負債48(+5)
固定資産 237(+4)	純資産 651 (+92)
総資産2,003(+212)	

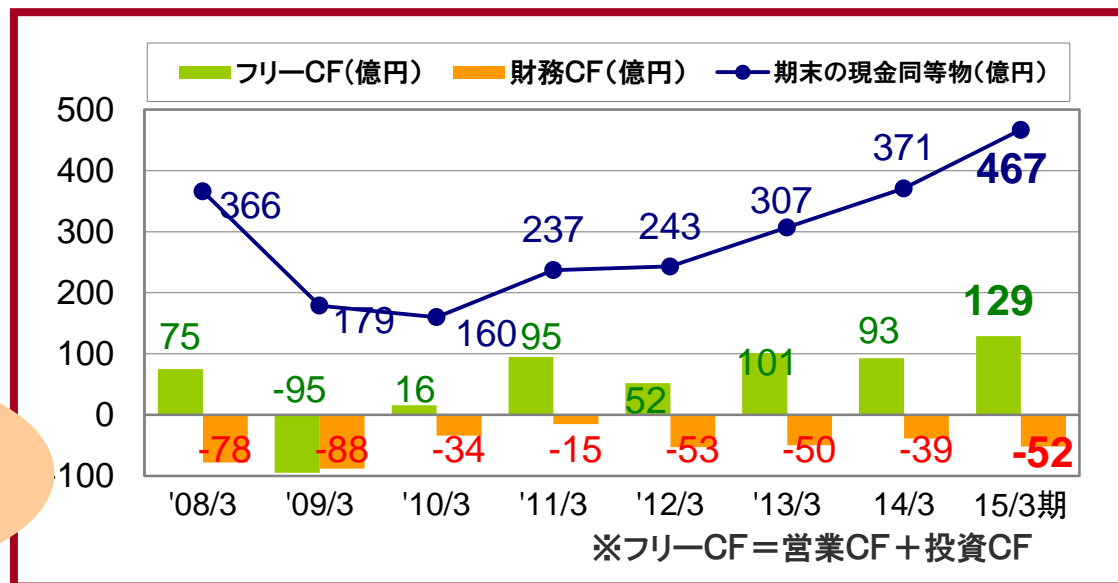
自己資本比率
32.4%

(2015年3月末現在/単位:億円)

■ 有利子負債／純資産推移



■ キャッシュフロー推移



Ⅱ. 中期経営計画「A.A.15」の進捗

経営システム
革新

収益力
向上

財務体質
強化

amaze! in
YamazeN.

驚きは、山善の中にある。



ものづくりに貢献し、快適な生活空間で“Amaze”を提供する存在感ある専門商社へ！

AA15

Amazing Act 2015

2016年3月期

売上高 4,500億円

経常利益 150億円

商品データベース拡充
OtoOマーケティング

Greenball Project
環境ビジネスの発展

ターンキー&ブリッジ
国際ビジネス連携

次世代&海外
マネージャーの育成

生産性の向上
ワークスタイル改革

連結配当性向向上
株主還元

中華圏統合システム
グローバルマーケティング

海外デジタル化構想
機工の海外展開

No.1専門商社へ
市場シェア向上

ナショナルスタッフ1000名へ
海外エンジニア育成

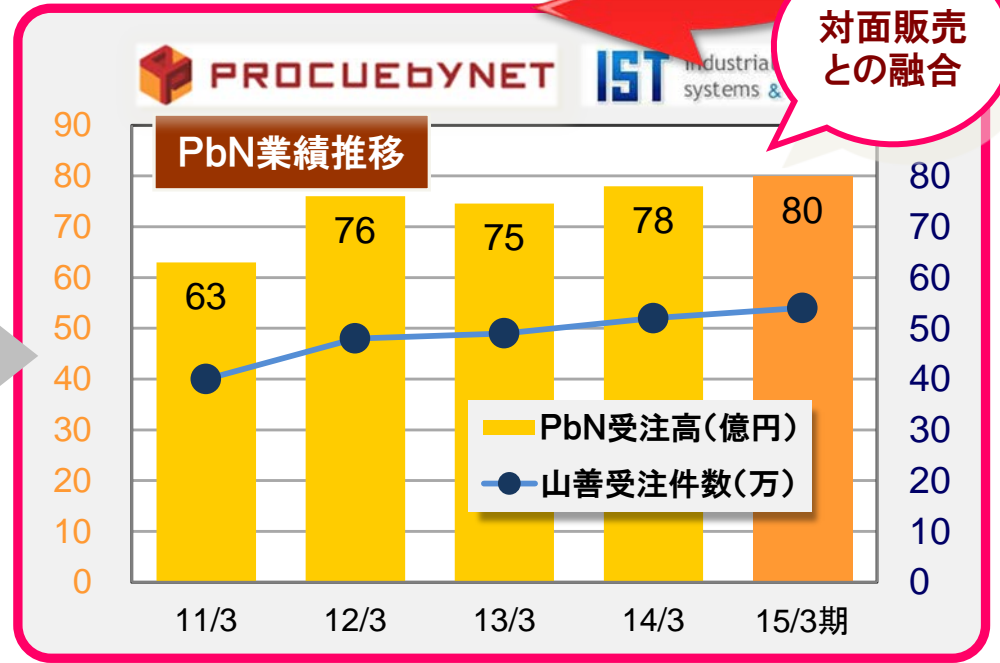
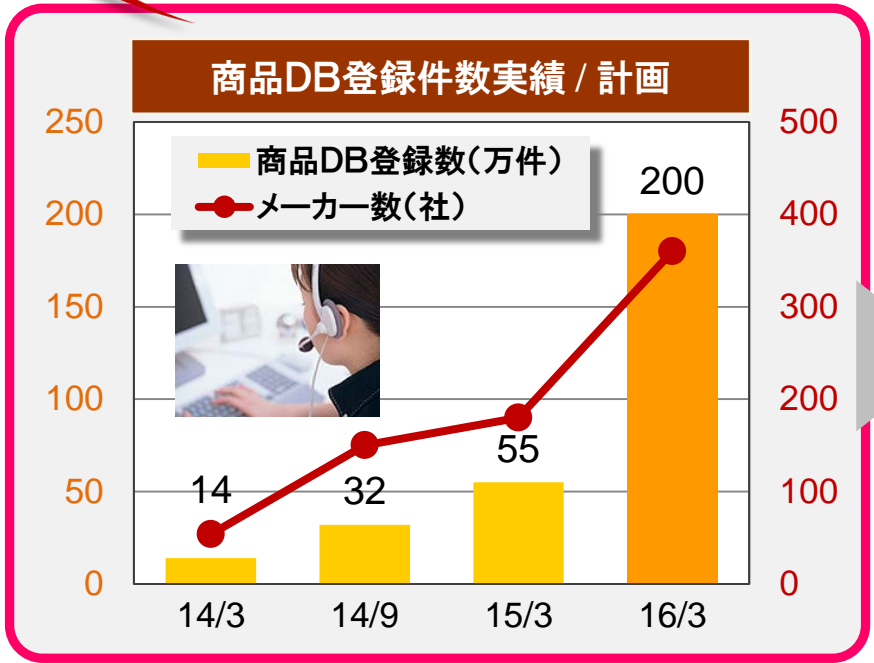
メカトロ機器拡大
S. I. の拡充

技術的コンサル力の向上
有資格者充実

物流資産の最適化
物流イノベーション

変化に柔軟な組織作り
次世代への取り組み

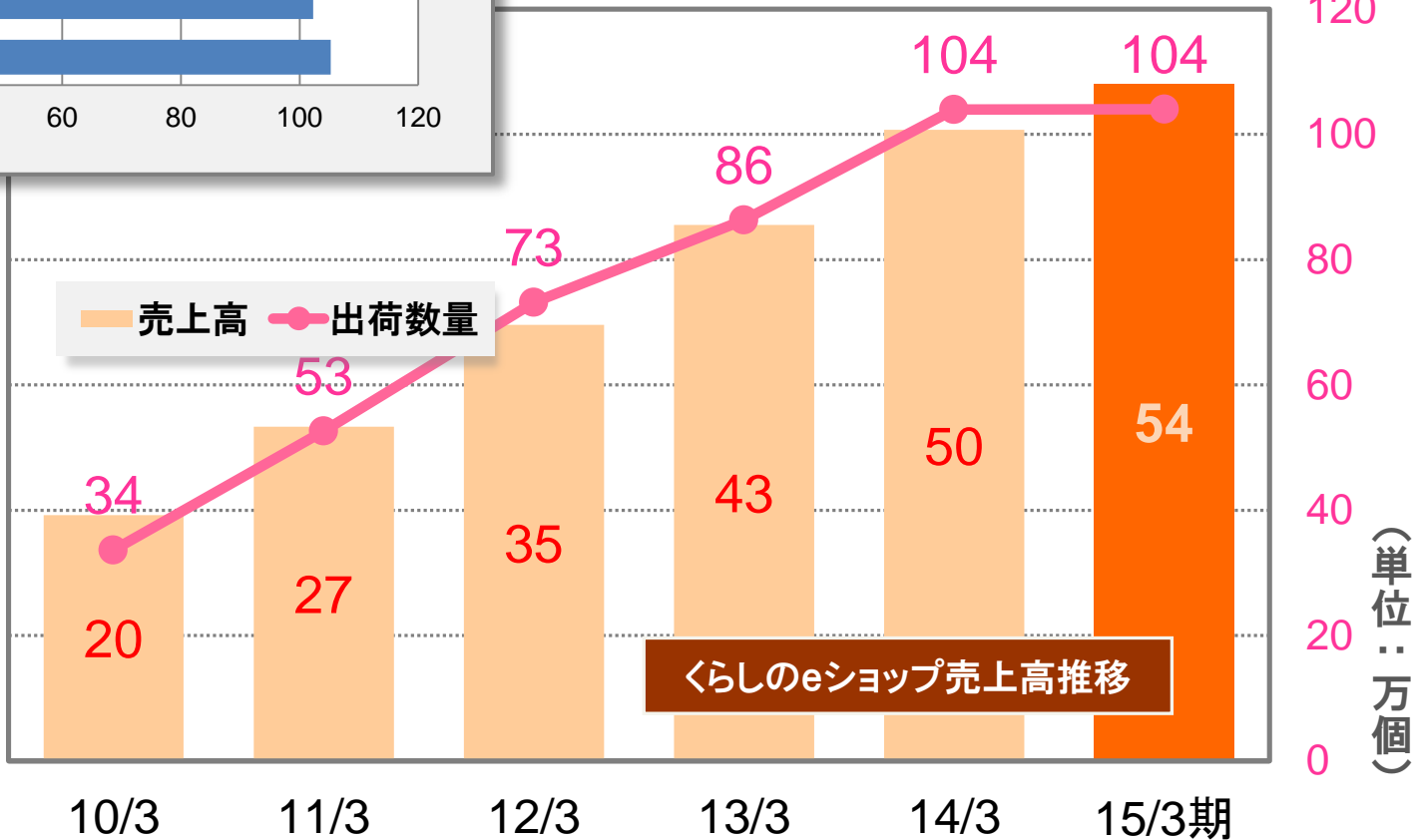
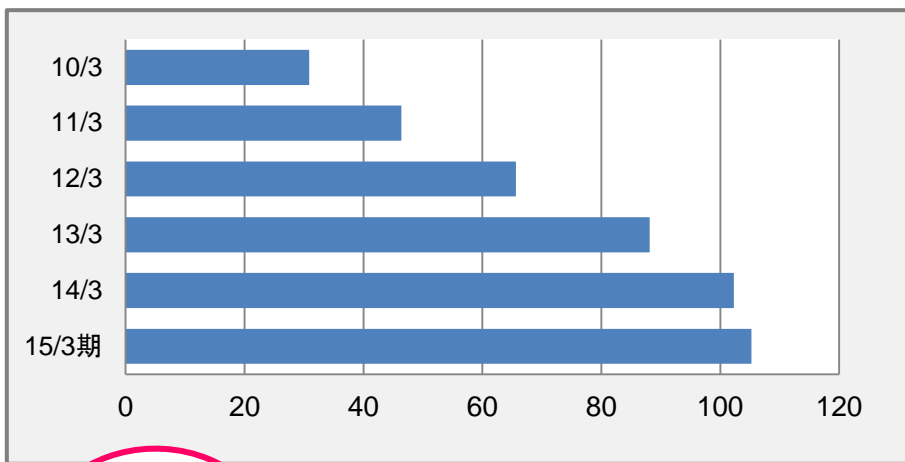
変化に対応する基盤作り
販売ルート多様化



対面販売との融合

➤ 「くらしのeショップ」は9期連続増収、年商54億円へ。

⇒ コンシューマ向けネット取引は年間200億円規模へ拡大する計画。



eショップ
PB商品
年間1位

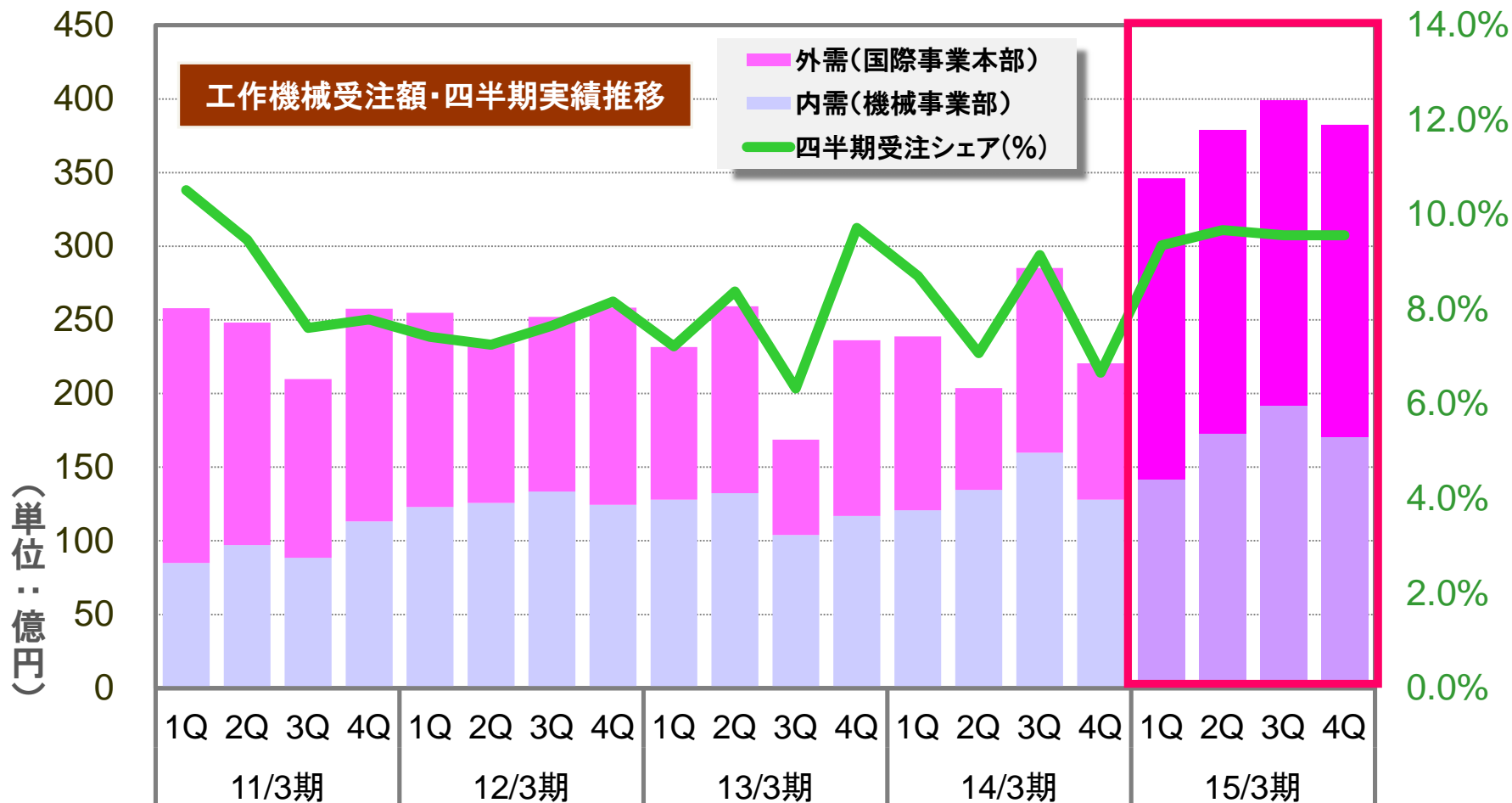


YAMAZEN
セラミックヒーター
DF-J121(W)

くらしのeショップ売上高推移

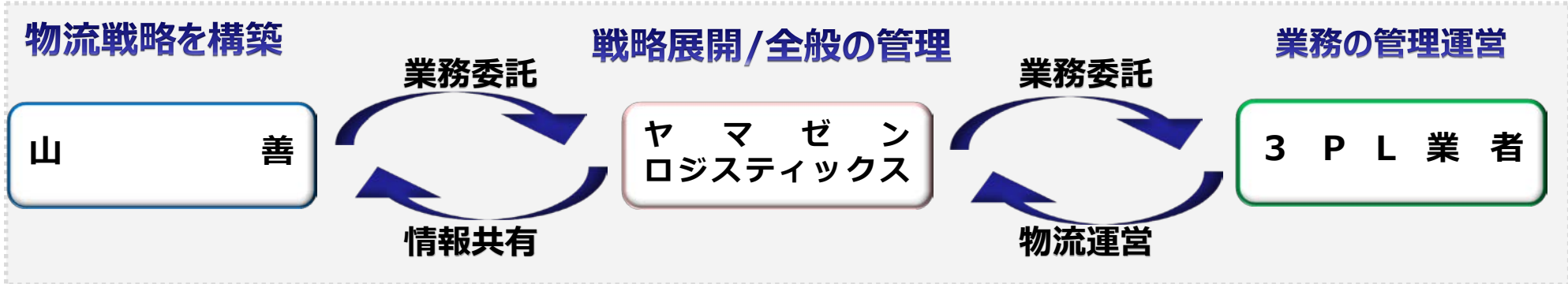
- 国内外工作機械年間受注額は1,500億円／年間累計シェアは9.5%※。
- ➡ 国内では機能補充、海外ではエンジニアリング力強化で商圈拡大へ。

(※日本工作機械工業会受注総額に対する割合)



戦略的観点から物流の付加価値化を図る。

⇒事業別、取扱い商材別に、最適な立地、配送・保管業務・機能を見直す。



ロジス名古屋 | 名古屋市瑞穂区・稲沢市に3PLとして移転準備中



【日立物流熱田物流センター】

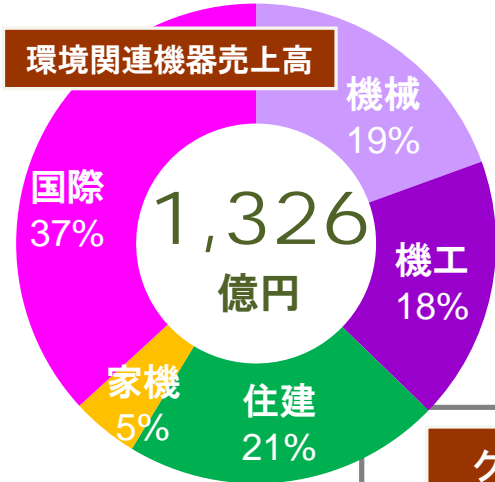


【三菱電機ロジスティクス
中部ロジスティクスセンター】

ロジス東京
(機工・住建/1993年稼動)

ロジス西日本
(家庭機器/1992年稼動)

↓
売却移転を決定
更なる最適化を順次図る



➤ 環境ビジネスは1,300億円規模へ。

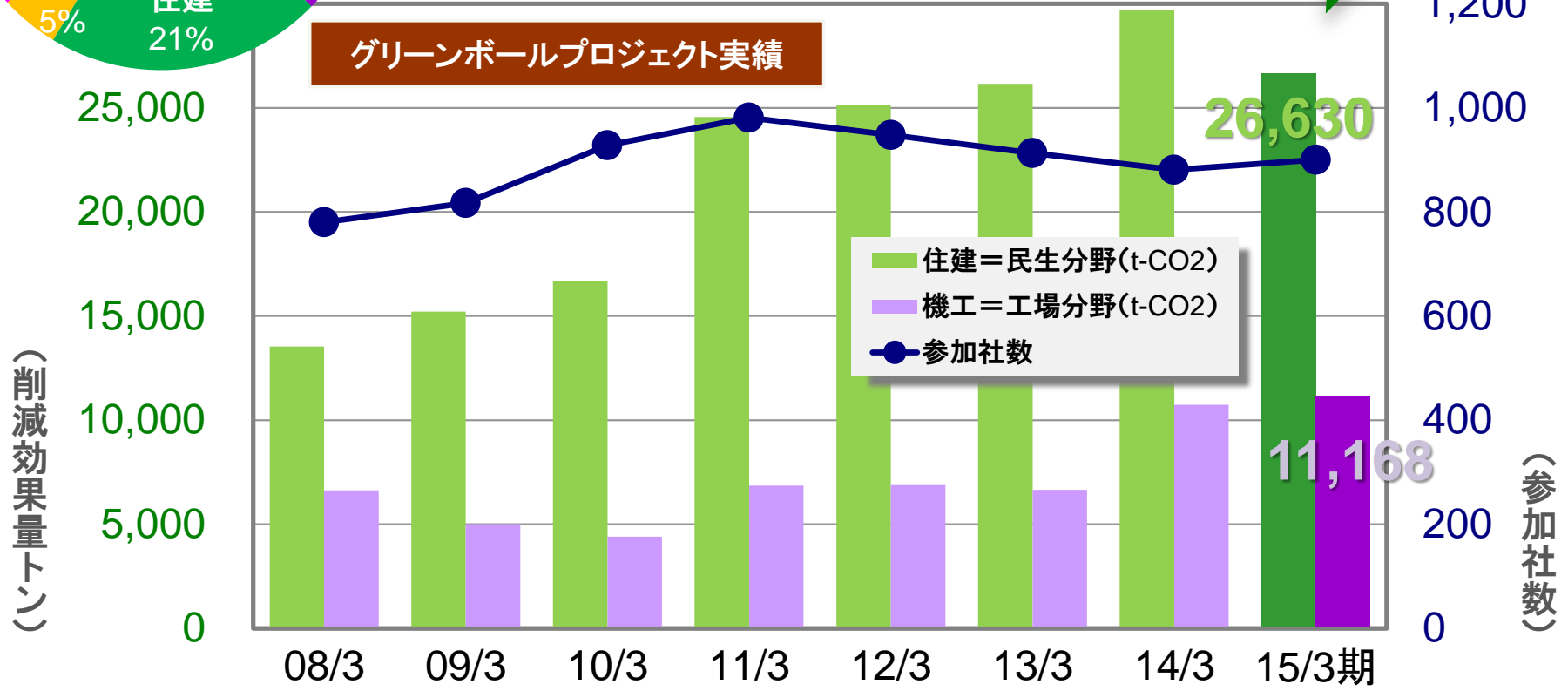
➤ 太陽光発電システムの設置実績は80MW超(機工+住建)へ。

➤ カーボンオフセットを更に強化し、カーボンフリー企業200社超えを達成。



CO₂削減効果量
37,798ton

クレジット譲渡量
15,108ton



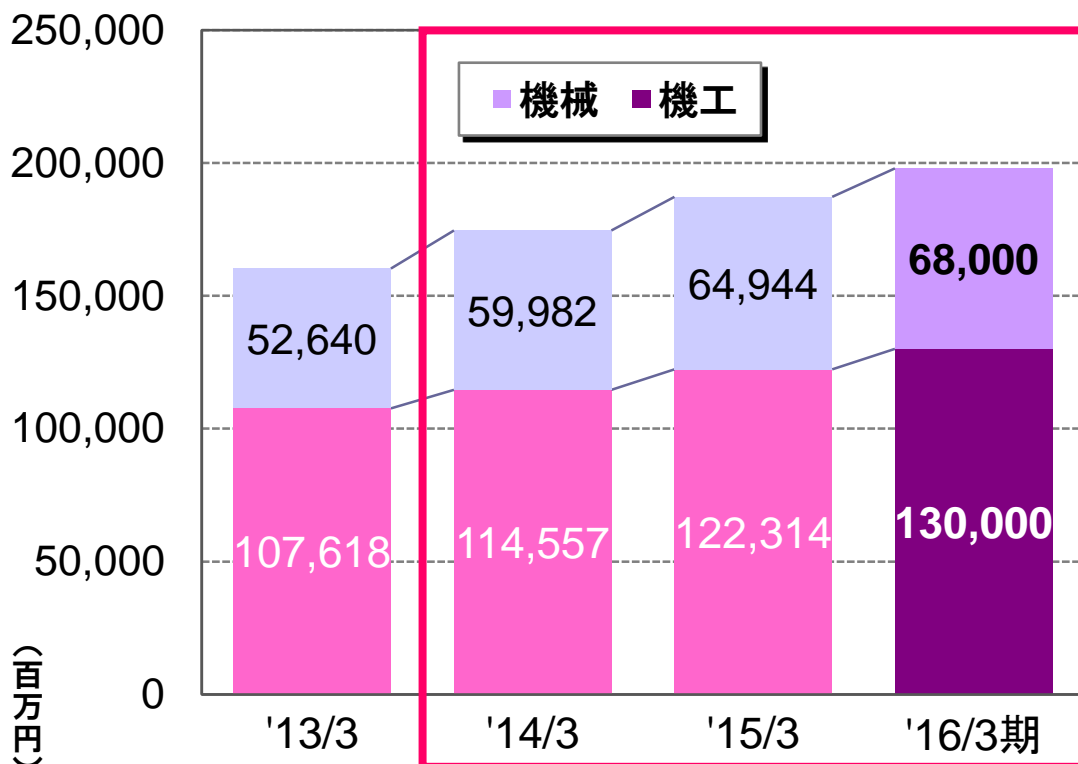
Ⅲ. 第70期の取り組みについて

 堅調な生産財需要、個人消費の回復を見込み、更なる“増収増益”を目指す。

(単位:百万円)	2015年3月期(第69期)		2016年3月期(第70期)			
	2Q実績	通期実績	2Q計画	増減率%	通期計画	増減率%
売上高	201,265	435,803	215,000	6.8	445,000	2.1
営業利益	4,689	13,130	5,650	20.5	13,300	1.3
経常利益	4,809	13,330	5,800	20.6	13,500	1.3
当期純利益	3,086	5,851	3,650	18.3	8,500	45.3

(単位:百万円)	売 上 高 (増収率)	営 業 利 益 (増益率)	(利益率)
機 械 事 業 部	68,000 4.7%	2,780 1.1%	4.1%
機 工 事 業 部	130,000 6.3%	4,200 19.5%	3.2%

国内生産財「A.A.15」 3カ年売上計画



■ 機工／カテゴリ別売上計画

	カテゴリー	'15/3	'16/3	前期比
①	マ テ ハ ン	13,690	15,000	110%
②	メ カ ト ロ	16,620	20,000	120%
③	環境改善機器	7,070	8,000	113%
④	流 体 機 器	8,020	9,000	112%
⑤	鉄骨加工機械	4,780	5,500	115%
⑥	切 削 ・ 補 要	22,640	26,000	115%
⑦	測 定 ・ 計 測	6,010	7,000	116%
⑧	産 業 機 器	28,860	30,000	104%
⑨	空調設備機器	1,390	1,500	107%
⑩	そ の 他	13,180	8,000	61%

* 今期よりカテゴリを一部再編 (単位:百万円)

(単位:百万円)	売上高 (増収率)	営業利益 (増益率)	(利益率)
国際事業本部	98,000 $\Delta 9.1\%$	3,900 $\Delta 22.8\%$	4.0%

■ 支社別売上計画

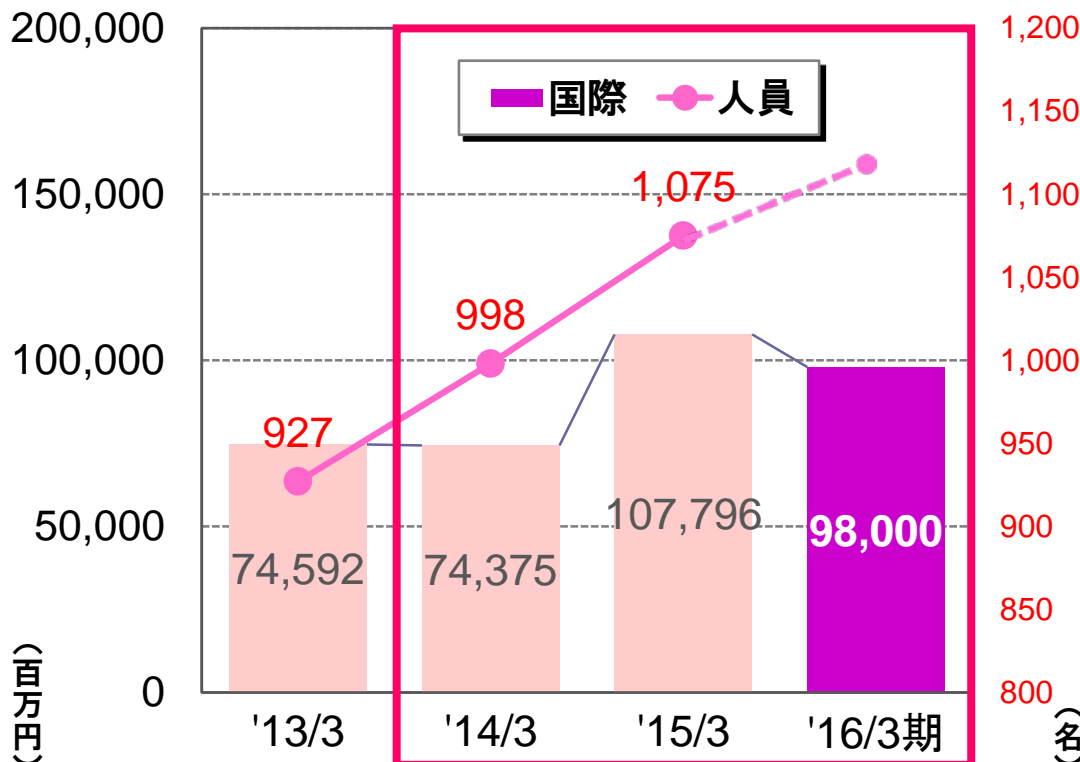
	カテゴリー	'15/3	'16/3	前期比
①	USA支社	9,941	11,000	111%
②	台湾支社	31,046	22,000	71%
③	南アセアン支社	7,476	6,500	87%
④	北アセアン支社	14,016	15,500	111%
⑤	中国支社	30,514	26,500	87%
⑥	SE他地域	14,803	16,500	111%

■ 部門別売上計画

	カテゴリー	'15/3	'16/3	前期比
①	機械	77,612	63,000	81%
②	機工	17,625	21,000	119%
③	SE他	12,559	14,400	111%

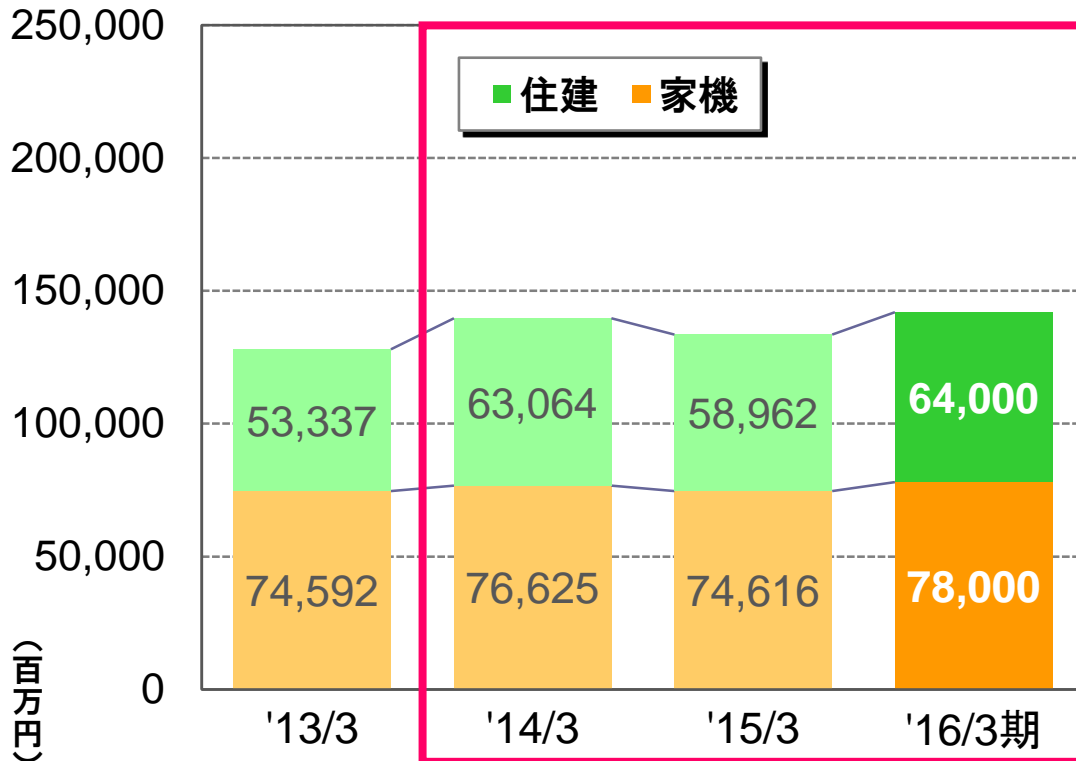
(単位:百万円)

海外生産財「A.A.15」3カ年売上・人員計画



(単位:百万円)	売上高 (増収率)	営業利益 (増益率)	(利益率)
住建事業部	64,000 8.5%	1,980 16.5%	3.1%
家庭機器事業部	78,000 4.5%	2,230 19.1%	2.9%

消費財「A.A.15」3ヵ年売上計画



■ 住建/カテゴリー別売上計画

	カテゴリー	'15/3	'16/3	前期比
①	水廻り・給湯	22,540	25,000	111%
②	環境・空調・太陽光	25,448	27,000	106%
③	建設資材・他	10,973	12,000	109%

■ 家庭機器/PB売上計画

	カテゴリー	'15/3	'16/3	前期比
①	生活家電	27,301	26,970	99%
②	インテリア	8,951	9,450	106%
③	エクステリア・レジャー	6,320	6,670	106%
④	工具・園芸	3,485	4,110	118%

(単位:百万円)

(単位:百万円)		生産財			消費財		その他	合計
		機 械	機 工	国 際	住 建	家庭機器		
売 上 高	前期実績	64,944	122,314	107,796	58,962	74,616	7,168	435,803
	当期計画	68,000	130,000	98,000	64,000	78,000	7,000	445,000
	前期対比	104.7%	106.3%	90.9%	108.5%	104.5%	97.6%	102.1%
営 業 利 益	前期実績	2,749	3,514	5,054	1,700	1,873	△1,761	13,130
	(利益率)	4.2%	2.9%	4.7%	2.9%	2.5%	—	3.0%
	当期計画	2,780	4,200	3,900	1,980	2,230	△1,790	13,300
	(利益率)	4.1%	3.2%	4.0%	3.1%	2.9%	—	3.0%
	前期対比	101.1%	119.5%	77.2%	116.5%	119.0%	—	101.3%
	(増減)	△0.1	0.3	△0.7	0.2	0.4	—	+0.0

※為替レート=前期:109.8円(期中平均) / 計画:115円

IV. 株主還元

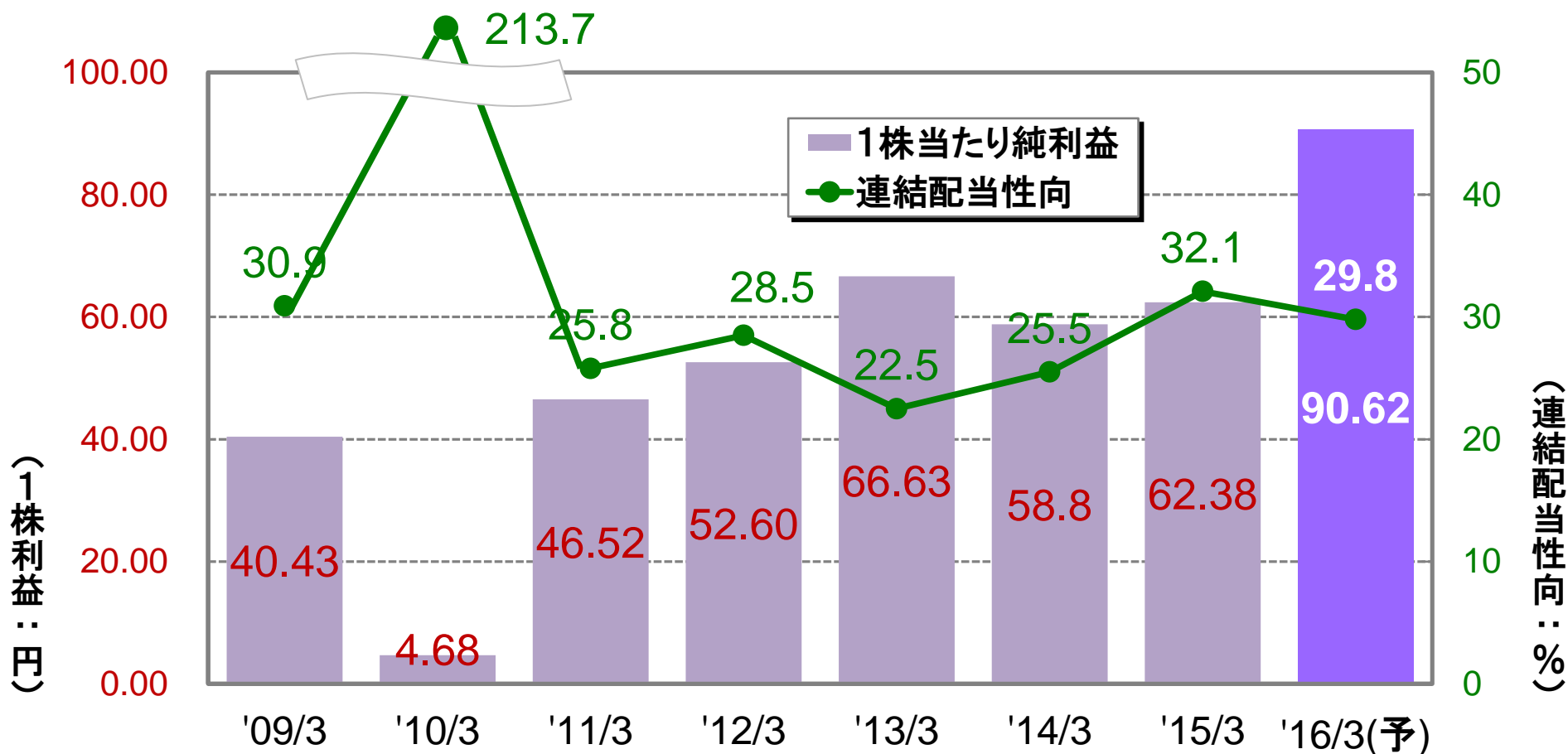
□ 利益配分に関する基本的な考え方

- △ 当社は、財務基盤の一層の充実強化と収益力の向上を図り、株主の皆様への安定的な配当を基本とした上で、利益水準を考慮し、利益還元を行うことを基本方針としておりますが、中期経営計画の最終年度においては連結配当性向を30%を目途に引き上げるよう取組んでおります。
- △ 内部留保金につきましては、株主資本の一層の充実を図りつつ、持続的な事業発展に繋がる有効な投資に充当し、中長期的な成長による企業価値向上を通じて、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

■ 配当金の推移

		'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3予
連結配当性向(%)		30.9	213.7	25.8	28.5	22.5	25.5	32.1	29.8
配当金額 (円)	中間	5.0	5.0	5.0	7.0	7.0	7.0	8.0	12.0
	期末	7.5	5.0	7.0	8.0	8.0	8.0	12.0	15.0

- 連結配当性向:29.8%を予定。
- 配当金額:中間12.0円+期末15.0円=年間27.0円<増配>。



項目(単位)		2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
P	E R (倍)	13.1	9.3	11.6	15.8
P	C F R (倍)	11.1	8.2	9.9	13.3
P	B R (倍)	1.5	1.1	1.1	1.4
売上高成長率 (%)		15.2	△0.7	6.7	10.3
売上高営業利益率 (%)		2.8	2.6	2.4	3.0
R	O A (%)	6.9	6.1	5.6	6.9
R	O E (%)	11.9	13.2	10.3	9.7
時価総額 (億円)		647	580	639	926
自己資本比率 (%)		27.6	32.1	31.2	32.4
配当利回り (%)		2.2	2.4	2.2	2.0
株価上昇率 (%)		42.3	△10.4	10.2	44.9



この資料には、当社の計画及び業績見通し等が含まれております。将来の計画や予想数値などは、現状の入手可能な情報により、計画・予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画等とは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

本資料、個別ミーティングに関するお問い合わせ先

経営企画本部 経営企画部 広報・IR室

TEL: 06 - 6534 - 3095

／ FAX: 06 - 6534 - 3280

e-mail: info06@yamazen.co.jp

amaze! in
YamazeN.